

# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary  
横浜旭ロータリークラブ



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー  
RI.D2590ガバナー／樋口 明  
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動  
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン  
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

## 2023年9月20日 第2520回例会 VOL.55 No.9

■司会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 田川 富男

### ■出席報告

会員数	18名	本日の出席数	13名
本日の出席率	72.22%	修正出席率	70.59%

■本日の欠席者 宋、中谷、佐藤(真)、二宮、福村

■斉唱／手に手つないで

■会長報告 田川 富男

現在、理事会において討議している案件ですが、例会場所の選択で討議されています。今は、岡田会員のご厚意を受け3階の会議室を使用している状況です。実は岡田会員の事業計画の関係から現在の場所が11月をもって閉鎖する事になりました。よって、新しい例会場を見つけることになりました。理事会では各所の選択場所が提案されました。その中では不明な点がありましたが以前にて例会場としていた相鉄ライフ二俣川のコミュニティーサロンに戻る案が有望視されています。名称も変わり相鉄ライフ二俣川が「ジョイナステラス3」となり10月6日にオープンとのことです。4階はフードコートとしてリニューアルされ新コミュニティーサロンも併設されているとのことです。ただ、予約方法や抽選方法、飲食が可能なのかわかりませんが、今後は使用して行くと考えられます。

来月は、10月8日(日)二俣川銀座のフォルテ祭(二俣川銀座商店会主催)と10月15日開

催の旭ふれあい区民祭の参加があります。ふるっての参加をお願い致します。委員会報告で社会奉仕委員会のラガー安藤委員長、ワールドカップの途中経過と祭りの説明をお願い致します。

### ■平子智章会員のご栄転



昨日辞令が出まして、今月いっぱいということで、後任の草柳支店長を伴い、新旧交代の挨拶ということで伺いました。

私はロータリーが初めての経験で、何から何まで分からない状態で、皆様のお力添いでここまで順調に参加させて頂く事が出来ました。

特に卓話では、皆さんのお話を聞いて学ぶことが多かったですし、逆に卓話させていただくことで、自分も成長出来たかなと思っております。

親睦会に付きましては、銀行の規制がありまして参加出来ない状態でありましたが、これか

ら規制が解除になりますので、後任の草柳支店長には積極的に参加して頂ければと思います。

これからはお客さんの所に行くことになっておりまして、まだ正式には決まってないので、具体的な会社名等お話出来ませんが、銀行と同じような仕事をしたいと思います。本当にありがとうございました。

#### ■新任草柳支店長



只今お話がありましたように、昨日辞令を頂き、今度鶴ヶ峰支店長となります草柳孝広と申します。どうぞよろしくお願い致します。現状9月末までは上大岡支店長をしております。住まいは相模大野なので通勤も大分楽になります。上大岡でも港南RCに3年間加入させて頂いて、今回2回目のロータリークラブになります。ただ、コロナ禍で経験不足の面もありますので、是非此方でしっかり学ばせて頂ければと思います。引き続きよろしくお願ひいたします。

#### ■社会奉仕プロジェクト委員会報告

副委員長 安藤 公一

2023年10月8日(日)に開催される「フォルテ祭」に我が横浜旭RCは、協賛と参加を致します。

国際協力 NGO Act for Child (伊吾田代表) が出店頂けることとなり、その場でタイ・ミャンマーの山岳少数民族が作ったフェアトレード品(手刺繍製品や手製民芸品等)を販売して頂けることとなりました。当クラブはこの販売に協力するため、テント、テーブル、椅子、昼食を用意すると共に当クラブの活動を一般の方々に対し宣伝、広報、アピールを行う予定です。

一方で、翌週の10月15日(日)の旭ふれあい区民まつりは、物販は許可されず、団体の広報・

宣伝のみとなります。この機会に当クラブの活動を区民の皆さんにアピールし、会員増強のキッカケとして行きたいと考えています。

会員の皆様をお願いしたいことは、当日の参加と準備のお手伝いです。今後色々とお願ひすることがありますので、当日のスケジュールを空けておいてください。

#### ■2023年ラグビーワールドカップの楽しみ方その2

安藤 公一

9月18日早朝4時からのイングランド戦にJAPANは12-34で負けました。

危惧されていたスクラムで互角に戦えたことが、前半の健闘に繋がりました。選手たちは、前半終了時点でそれなりの手ごたえ感じていた筈です。ただ、前半終了間際のペナルティーは、しなくてもいい反則(オフサイド)でした。後半最初に奪われたトライは相手選手のノックオンではなく、ヘディングとみなされトライとなったのはアンラッキーな出来事でした。その後反撃に移ったJAPANでしたが、決定的な場面でミスが続き、得点を挙げることなく試合終了を迎えてしまいました。

姫野主将をはじめ試合終了後に悔しがっていたのは、勝つチャンスがあったからだと思えます。

数字的に見てもジャパンのタックル回数は198回でその内ミスタックルは18回、但しその内16回が後半の後半で出てしまいました。

あのヘディングによりそれまで60分間続けてきた集中が解けてしまったのかもしれない。メンタル的なタフネスの欠如といえるでしょう。

決定的な場面、JAPANの得点チャンスで起こってしまったノックオン等の細かなミスも体力、技術のみならずメンタル的な欠如に起因しているとも言えます。

イングランドはJAPANの蹴ったボールの全てをクリーンキャッチしています。JAPANのキックの精度が至らなかったこともイングランドに優位に働いたとも言えるでしょう。

弱者が強者に勝つには自らのミスを起こしてはなりません。

JAPANは、ラインアウトでもミスを犯してい

ました。

この辺りのミス回数を極力抑えなければ、今後のゲームも苦戦は必至です。

スクラムとコンタクトの局面では十分勝負できるレベルに達しているのです、これからの2戦でこのミスを如何に少なくしていくかで決勝トーナメント進出の可否が決まってくると考えます。

次は、サモアと9/29午前4時からNHK地上波での放送となります。このサモアに快勝しボーナス点を積み上げることができないと決勝トーナメント進出は遠ざかってしまいます。それまでの9日間をどのように有意義に過ごせるか。大きなポイントです。

昨日、フィジーが豪州に実に69年ぶりに勝利を飾りました。この下克上の波に乗って、今後JAPANがサモアとアルゼンチンを撃破してくれることを祈っています。

皆さんも一緒に応援しましょう。

#### ■会員増強委員会 五十嵐 正 会員増強への横浜旭RC会員から得た調査報告

8月2日増強フォーラムでのご意見と9月6日のプレストにより以下の内容が読み取ることが出来ました。

まずRCの魅力について、①人とのつながり、②社会奉仕、地域貢献、③卓話（知識・情報）、④相応しい例会場の4点の要因がクラブに求める現会員の大きな要素であるということ。したがって、この4つの項目の活動の質や意義を高めることが退会防止へ繋がる。という事が読み取ることが出来ます。新会員増強を考える前に抑えて置かなければならない事と思いました。

その上で、会員増強へのヒントとしては、

①の人とのつながりでは、会員の多様性に意見が多く見られます。正会員でなくても、つながりを持ちたい地域の名士、そして、RCに興味はあるが、どんな組織なのかよく分からないといった人への配慮があつていいのではないかという意見です。これは地区内の他のクラブでも用意されているクラブは複数あり、名称は様々で、期間や会費なども配慮されており、地区人頭分担金も様々のようです。

→理事会にてご審議してください。

②の奉仕活動では、地域貢献が活動の充実につながると考えられており、RCに在籍する大きな要因です。→各委員会がよく考え、実行するそれに尽きると考えます。

③の卓話も大切な要素で、出来ればプログラム委員会にお願いですが、会員の興味ある事柄など調査して、プログラムに反映して頂けると、会員の満足度アップに繋がると思います。

④相応しい例会場ですが、これほど皆さんが重要視しているとは気がつきませんでした。皆様の中で良い情報がありましたら御寄せください。

会員増強への具体的な方法として、活動のPRの指摘がありました。駅周辺の目立つ所での、ロータリーの標語の看板設置。また、クラブの活動を紹介するツールの必要性が上げられました。→広報委員会にて検討をお願いします。

次に勧誘の方法ですが、OB,OGやらJC、と様々意見がありましたが、具体的な方向性は見つかりませんでした。ただ、旭区の新規事業者が地域に信頼の置ける人間関係作りを求めている候補ではないかと複数意見がありました。→これは増強委員会が調査する内容ですね。

また、増強委員会への具体的施策として体験例会に多くの意見が寄せられました。年2回これから計画を立ててみます。

また参考資料として、ロータリー地域社会共同隊(RCC)というものがあります。詳しくは分かりませんが、地域の様々な課題に、その課題と取り組んでる組織、NPO等に会員が関りをもち、ロータリーの認知度を高めたり、活動をいっしょに支援するというものようです。もう少し調べ後日ご報告いたします。

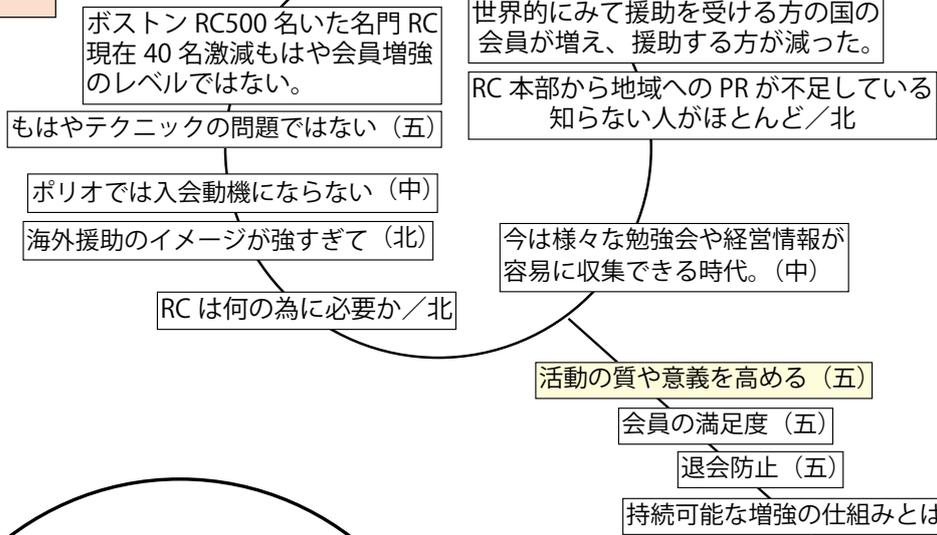
最後に防災の観点からの会員増強のアプローチとして、旭区地区防災計画というものが、旭区には制定されております。今度手に入るか調べてみますが、旭区地域防災計画(企業版)みたいな物が出来ないか調べています。これは旭区内企業の特徴などを調べ、災害時に地区内企業連携の仕組みが出来ないかと考えるものです。防災専門のNPOや旭区社協の協力を得て、区内企業に呼びかけ勉強会を企画し、旭区地域防災計画(企業版)の構築を目指すと大それた事考えております。

経過は随時ご報告いたします。

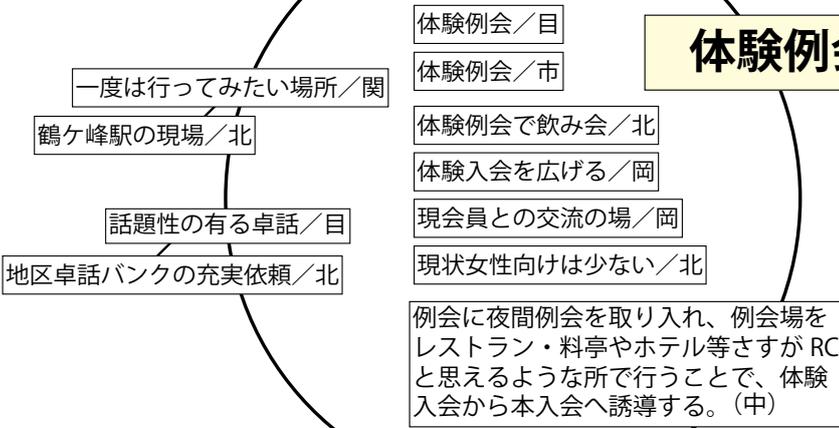
# 増強のヒント

2023.9.20 No.3

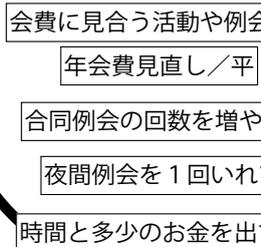
## RC への魅力の変化



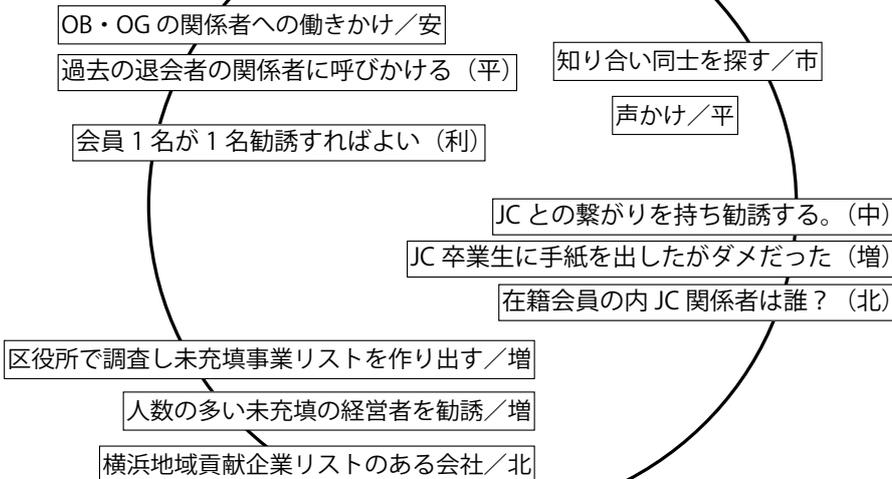
## 体験例会



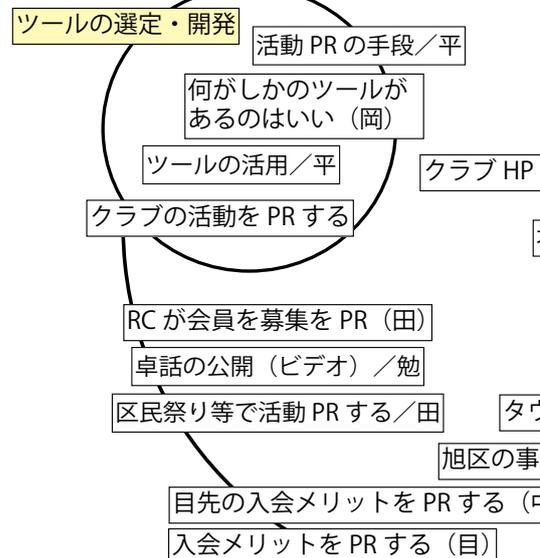
## 現会員の満足度



## 勧誘の方法

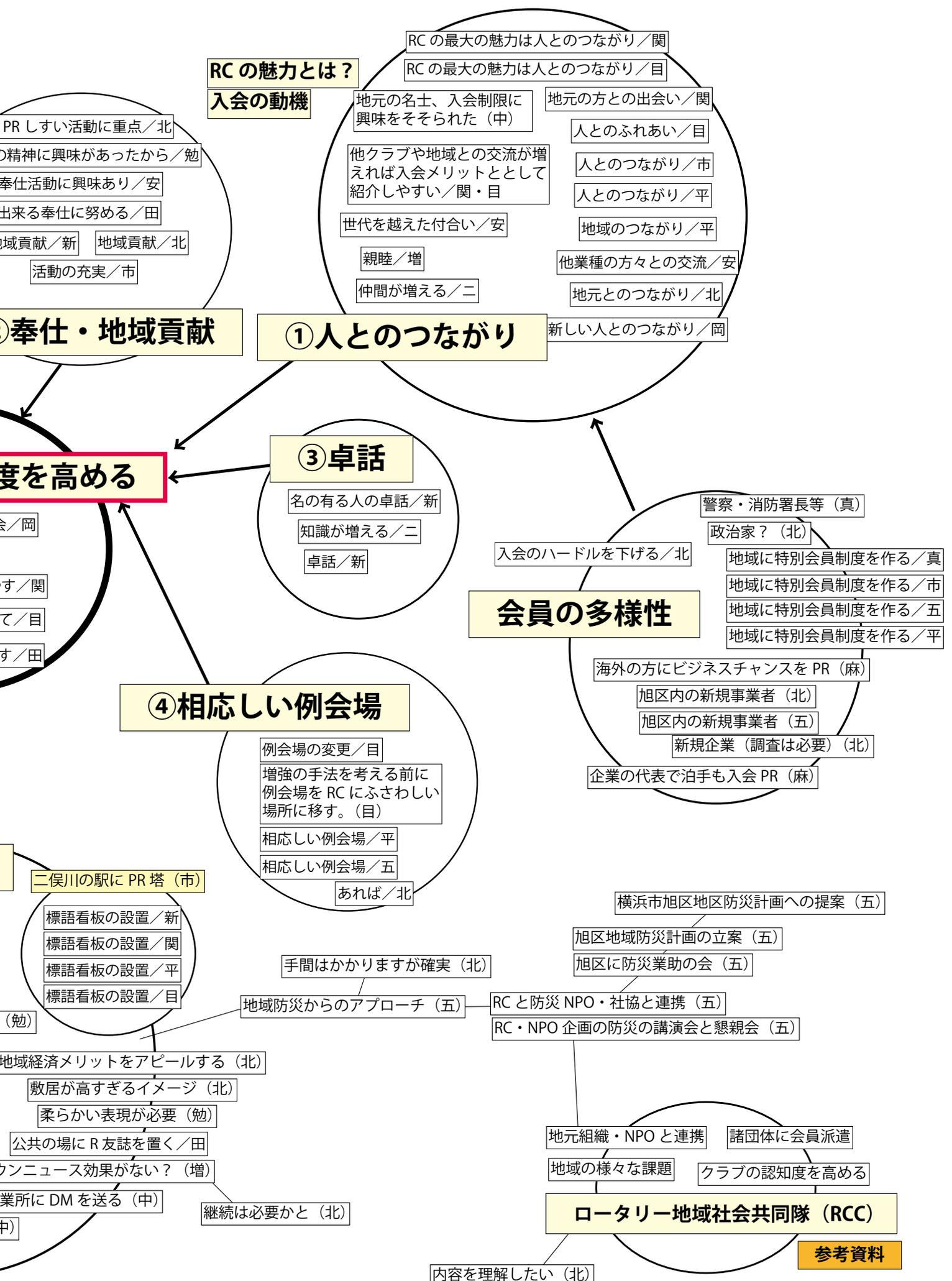


## 活動 PR の方法



旭区のライオンズはどのように増強+退会防止をしているのか? (北)

地域や社会に貢献するという意識を持つ企業は減ってるように思う、ビジネスチャンスと捉え入会希望する企業しか入会しないのでは。(北)



## ■ニコニコ BOX

田川 富男／①例会場もロータリークラブのステータスと考えてます。より良い場所を選択したいと思います。②佐藤利明さん卓話よろしくお祈いします。

岡田 隆／佐藤利明会員、本日の卓話楽しみにしています。

安藤 公一／①佐藤利明さん卓話宜しくお祈いします。②平子さん長い間ありがとうございました。草柳さんこれからよろしくお祈いします。③ラグビー WC では日本はイングランドに負けてしまいましたが、残るサモア、アルゼンチン戦の勝利を祈っています。

五十嵐 正／①佐藤利明さんの卓話楽しみにしております。よろしくお祈いします。②平子さんお世話になりました。今後ともご活躍期待しております。

北澤 正浩／佐藤利明さんの卓話楽しみにしております。

平子 智章／本当に大変お世話になりました。ロータリーの益々の発展祈念しております。

市川 慎二／①平子さん、大変お世話になりました。草柳さん、これからも宜しくお祈い致します。②佐藤さん、いつも素敵な卓話ありがとうございました。

目黒 恵一／佐藤利明会員卓話よろしくお祈い致します。

関口 大樹／佐藤利明さん、本日の卓話よろしくお祈いします。

佐藤 勉／①佐藤利明会員本日の卓話よろしくお祈いします。②草柳さんよろしくお祈いします。平子さんお疲れ様でした。

## ■一般卓話「借脳の日々」 佐藤 利明

今日の卓話は久し振りです。話す前に、烏滸がましいとは思いますが、失礼の段お許しを頂き、三つ程お祈いをしておきます。一つ目は、目をつぶらないで下さい。日をつぶっていると、必ずと言っていいくらい居眠りに進行していきます。二つ目は体を私の方に向けてください。お互い正面を向き合って話したり聞いたり、していただきたい。三つ目は余程のことがない限り席を立たないでいただきたい。このことは、何も私の卓話の時に限らず、外部からお招きした卓話者の時も、会員何方の卓話、委員会報告の時でも一緒です。よくニコニコ BOX で、誰々



さんの卓話楽しみにしております、と書いておきながら、コックリ、コックリ居眠りをしている会員がおります。失礼千万であります。話される方はそれなりの準備をされてきている訳ですから、30分間のおつきあいは礼儀であると思います。以前私は卓話の折、昼食の後のド手な面白くもない話しは最高の子守歌になるといいましたが、このことも頭のすみにはありますが、承知の上で今日のところは柵の上にしまっておいてください。以上勝手に申し上げましたがご理解いただきたく思います。

私のロータリークラブへの入会は1983年5月14日。42歳の時であります。多くの異業種の先達に、ご指導を戴きました。

雲の上のような風格威厳を感じる方、優しく包容力があり寛大な方、学識豊富な方、人生経験豊富な方、人情味ゆたかな方、そういった方々に、時には厳しく、時には温かく、ご指導戴きました。素晴らしい先輩方に同席できることに、浅学非才の身である私は、ある種の憧憬と羨望を持って、例会に参加しておりました。「自分がここにいる、いいのかな」と思ったり、また皆さんに「半歩でも一歩でも近づけたら」と思ったり、その為にはどうしたらいいのか、と思い巡らせておりました。一生懸命・迷惑をかけないようにと、ロータリー精神、ロータリー哲学を学び、クラブライフを楽しみながら、人生の半分を横浜鶴峰RCと横浜旭RCで、日々過ごし、その内で横浜鶴峰RCで2度の会長と、青山彰義ガバナーの時、地区大会幹事を任され、IMの指揮を任され、各年度ごとの委員長も経験させて頂きました。横浜旭RCに移籍後はアンダーグラウンド、サポートとして出席・参加し、気がつけば、いつしかクラブでも古顔の一人になっております。

私がロータリークラブに入会時、「ロータリー人門書」前原勝樹<sup>かつたか</sup>著と「ロータリーは人を作る」佐藤千寿著を読みました。ロータリーとは何かを理解するには最良の教科書であり役立ちました。約半世紀前に著されたものでありますが、久しぶりに読み直してみました。本日の卓話はその内容と高良明PGから戴いた「凡太の奉仕経営物語」と題した、非常に判りやすくロータリーの詳細と合わせて事業経営に関するノウハウが網羅された本を参考に、私なりに理解したロータリー哲学を悲に「借脳の日々」と題して、最近あまり聞かれなくなったロータリー語録も含めて、話しを進めていきたいと思っております。

それでは本題に移ります。

「奉仕の理想」には二つの奉仕理念があります。「超我の奉仕」と「最も奉仕する人、最も多く報われる」であります。今更ここで述べるまでもないことですが、この文言はロータリアンなら誰でも知っているところであります。ロータリーは一つの人生哲学であります。又、ロータリーには「入りて学び、出でて奉仕せよ」という文言もあります。ロータリーは「人生の道場」である。「ロータリーは人をつくる」とあります。その中で自分を磨くのも、大きな目的であります。自分を磨いたうえで、機会をあたえられた時には、自分の職業を通して社会に、出来る範囲で貢献することが出来るわけです。ロータリーには責務がいくつかあります。その最たるものが例会への出席であります。「出席なくして奉仕なし」「ロータリーは出席することに意義がある」等々言われるように先ずは出席から始まります。

ロータリーの理念とか哲学とか諸々大切なことは、たくさんあるわけですが、先ずは例会出席です。例会へ出席するのは、そこで心に安らぎを求め、親睦を深め、そして進んで奉仕の精神に、灯を点じようとする為ではないでしょうか。奉仕する人を集め、奉仕を鼓舞し、奉仕をする人を育成するのがロータリーの原則なのです。そして、そういう人が集まって、親交を深めロータリーの精神を分かち合うのがクラブの例会という場なのです。例会出席を厳しく言われるのもこういう例会の意義を見極めて頂く為なのです。クラブによっては100%出席のクラ

ブもあり、また、20年、30年、40年皆出席という超人的な会員もおられるわけです。勿論、メーキャップという制度がありますので、この制度を利用されていると思います。自覚また健康状態も含めて諸々の条件が揃わなければ出来ないとは思いますが、まさに驚嘆・至難の極みであります。

昔は金持ちの老人たちの昼食会だ、等と揶揄されたりしましたが（これはロータリーを知らない一部の人であります）昨今は、若い人を、大いに勧誘・奨励し若い人のエネルギーやバイタリティを評価し優れたアイデアをひきだしていかなければならないと思われています。若く第一線で先頭になり活躍されている方々は当然ご多忙であると思われれます。高齢で第一線のある程度はなれた方は時間的にも出席が比較的容易と思われれますが、若い人たちは、なかなか、時間がとれない、思うにまかせない、仕事が優先だ、したがって出席が疎かになってしまう。ではありましようが、厳しいなかにも時間を都合つけて、例会に出席できる喜びを味わえるようにならなければ、真のロータリアンには、なれないわけです。また、例会に魅力がない、出席しても面白くない、メリットがない、ということで、例会を欠席、そして最悪の結果、退会ということになります。しかし、大多数のロータリアンは「ロータリー精神」「例会出席の意義」をよく理解し、出席することにより親睦を深め、そこから友情が生まれ、善意が芽生え、そして奉仕へ発展していくものと信じて活動をし、そこに魅力を見出しているのではないのでしょうか。「魅力」とは人の心を引き付けて夢中にさせる不思議な力だと、高良明PGは言っておられます。勿論、例会に充実感がない、面白くない、出席者が少ない、等々言われれば、例会の進め方、プログラムの組み方、特に「例会の華」といわれる「卓話」を楽しめるように、検討していかなければならないでしょう。ロータリーの魅力の大きな部分である「卓話」。会員の卓話について、よく「何を話したらいいのか」と相談されることがあります。私はいつも、こう答えます。我々は異業種の集まりであり、同業者の情報交換の場とは違うわけです。したがって、自分の職業は自分が業界の代表であると自負してロータリーの間にいるわけですから、何も難し

い話だとか専門外の話だとかではなく、一番自信のある、所謂「職業卓話」をされるのが良いのでは。または、趣味・自分の好きなことを話されたらどうですかと。そのようなわけで「卓話、外部招聘卓話」も含めて一考、願えればと思っっているのも確かなところ。年度の会長をはじめ役員は言うに及ばず、全会員が一つになって取り組まなければ、と思っております。例会の内容が充実してくれば、自ずと出席も良く、魅力も増してくるでしょう。しかしながら、魅力とか価値とかは、人それぞれ感じるところは、異なるわけでして、例会の中に自分自身で魅力をみつけて頂ければとも思います。

元米国のケネディ大統領は就任時、「米国民が米国民に何をしてくれるか？ではなく、国民は国に対して何ができるか」スピーチされたと聞いております。我々も「ロータリーが」「例会が」どのようなメリットをくれるのか、どのような魅力あることをしてくれるのか、ではなく魅力づくりに、我々自身で共鳴できるようなことを見つけ、心をついて取り組もうではありませんか。最近、例会に活気が見られない、我がクラブ、これでいいのかと思うことが度々あります。勿論出席者が多ければ、活気も湧いてくるわけ。一人一人が自覚して頂き、協力していけば、このことは即解決するわけ。「協力することは、迷惑をかけないことである」言うまでもないことです。縁あってRCの会員となり一緒に活動してきた仲間であることをもう一度確かめたいものです。ここでは出席率何%とか、連続欠席何回で会員身分が終結だとかはもうしません。そんなことは、定款・細則で各自十分認識しているはず。今年度も退会者が出てしまいました。クラブの指導的立場で行動して頂きたかった方もおり非常に残念です。退会の理由の一つ、経済的な事情があるとか聞いております。このような景気のときに、社会奉仕どころではないよ、と言われる人もいるとか、しかしロータリー創設時のシカゴも社会は、恐慌状態にあったと聞いております。景気が良く皆豊かなら、社会奉仕活動、況や寄付行為など誰も望まないだろう。景気が悪く助けを必要としている人々がいるから、助け合い運動、社会貢献する奉仕活動が必要なのではないでしょうか。もう一つの退会理由は人間関係の「確執」があるようです。誰でも、自分に自信

と誇りを持っていると思います。まして、ロータリアンは、その事業においても、専門職においても、少なからず、成功を見た非常に個性豊かな、人達であります。そして異なる環境で、生活をしてきているから、ロータリーに対しても、それぞれ、考え方も、取り組み方も、気構えも多少、異なると思う、時として、意見の対立もあると思います。これは「寛容と友愛」のロータリー精神でクリアーして欲しいし、ロータリーの終局の目的は（人間関係を改善）することによって、よりよい社会を作り、平和な世界を築くために貢献することにあるといわれております。一人一人の善意を呼び起こし、奉仕の理想を発揚する必要があります。事情はいろいろあることではあると思いますが、自負心を持っている人が、退会を余儀なくされた時、ご自身も非常に残念であろうし、寂しさを感じているのではないかと、思っております。ロータリーも時を経て約束ごととも変わってきております。ある意味、よろしくない方に（あくまで私見）変わってきている面もあると思っております。その一つが、出席免除とメーキャップ期間の延長であります。問題は「条例と事情」であります。健康上、長期入院治療が必要であるとか、高齢で毎例会の出席が覚束ないとか、海外への赴任で周辺地域にクラブが存在しない等々、萬やむをえずということが認識されていないわけです。会員資格を保持するため、出席を補填救済するのが出席免除の規定ですので、認識を新たにしてください。メーキャップも例会日の前後2週間というのも、気持ちのなかに、安心というか緩みができ、まだ余裕があると思っっているうちに、日が過ぎてしまうという気がします。

もう一つはロータリーの、一業種一社（一人）という、その業種、業界の代表という規定が崩されたことです。自分は業界を代表する選ばれた人であるという自負心なくなるということにも繋がることであると考えます。この二つを私は如何なものかと思っております。

経営の実践家であり、社会の指導的立場におられる諸兄のまえで卿か失礼とは息っておりますがクラブ長寿会員最高齢であるということで、今日の話はお許しい頂きたく、ご理解ください。

#### ■次週卓話

10/11 NPO 法人あっちこっち